



工事は順調

三陸縦貫鉄道久慈線

久慈 - 普代間



大平洋



本県と宮城、青森両県沿岸を結ぶ「三陸縦貫鉄道」(起点 前谷地、終点 八戸)の久慈線久慈-普代間(二十六・四キロ)の建設工事は順調に進んでいる。

現在、行われている主な工事は安家川橋の架設(写真)と線路の敷設工事。特に、安家川橋の工事は、総延長約三百五メートル、高さ約三十三メートルもある難工事だ。

開通は来年七月の予定であるが、開通すると、この区間は約三十五分て結ばれることになる。工事着工は昭和四十年十一月。これまでにかけた費用は約四十五億円。

着々と大動脈づくりが進んでいる。

なお、宮城-岩手-青森が結ばれるのは、昭和五十二年春の見込みである。